

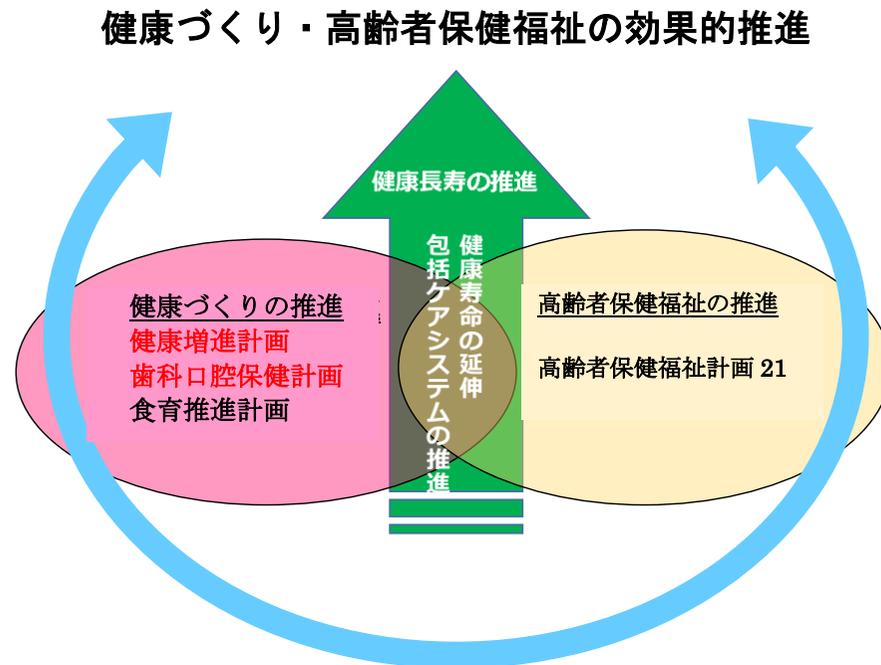
# 「第3次枚方市健康増進計画」及び 「第2次枚方市歯科口腔保健計画」の策定について

## 1. 背景・目的

健康増進施策を計画的に推進するため策定している、「第2次枚方市健康増進計画」、「枚方市歯科口腔保健計画」、「第3次枚方市食育推進計画」が、令和5年度（2023年度）に計画期間の終期を迎えることから、各計画の最終評価及び次期計画の策定を行うものです。

これらの計画は「健康寿命の延伸」という共通の目的を有しており、各計画の取り組みを連動、連携させることで、より効果的に推進できるよう、策定作業を進めます。

両計画については、枚方市健康増進計画審議会において、両計画の最終評価についての調査・審議を行い、その後、最終評価の課題や国・府の計画を勘案し、策定します。



## 2. 内容（現計画概要、国の最終評価及び次期計画構想、次期計画の方向性）

### （1）第3次枚方市健康増進計画策定に向けて

#### ①第2次枚方市健康増進計画

計画期間：平成26年度（2014年度）から令和5年度（2023年度）までの10年間

#### <基本理念>

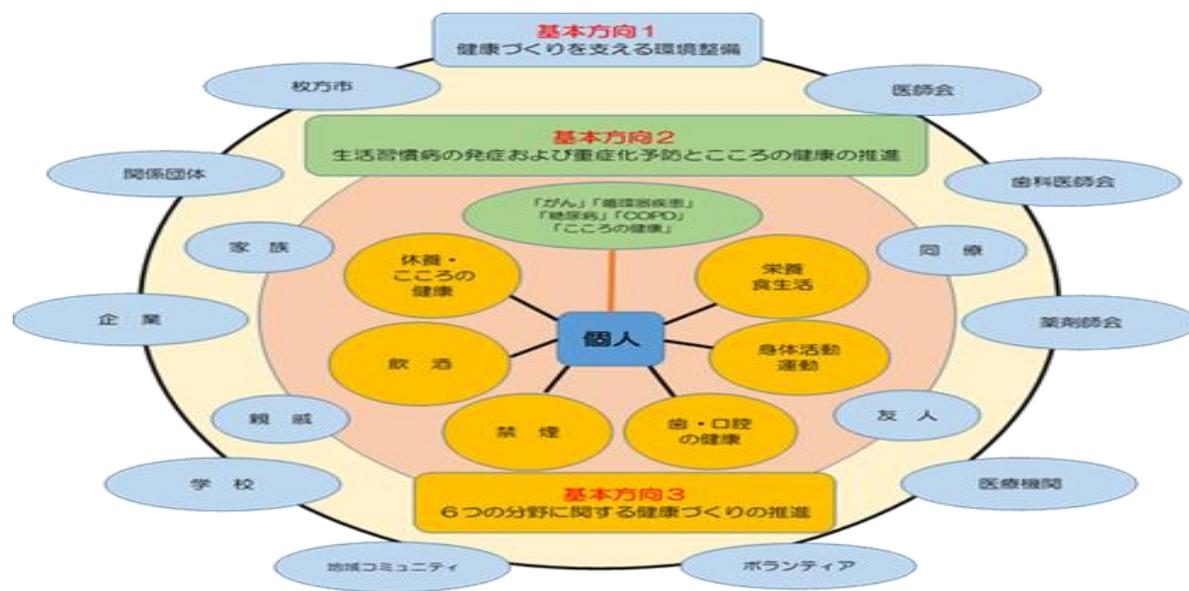
市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こすことができるようサポートするとともに、健やかで心豊かな生活ができる社会環境づくりに取り組み、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができるまちの実現を目指します。

#### <基本方向>

基本方向1：健康づくりを支える環境整備

基本方向2：生活習慣病の発症および重症化予防とこころの健康の推進

基本方向3：6つの分野（「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯・口腔の健康」「喫煙」「飲酒」「休養・こころの健康」）に関する健康づくりの推進



#### 【目標設定】 34項目 39の指標を設定

基本方向2

〈生活習慣病の発症および重症化予防とこころの健康の推進〉

・がん、循環器疾患、糖尿病、COPD、こころの健康について

**14項目 16指標**

基本方向3

〈6つの分野に関する健康づくりの推進〉

・乳幼児期、児童生徒期、青年期、壮年期、高齢期において

**20項目 23指標**

## ②健康日本 21（第二次）の評価のまとめ 【国】

【計画期間：平成 25 年度（2013 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの 11 年間】

策定時のベースライン値と直近の実績値を比較	項目数 (再掲除く)
A 目標値に達した	8 (15.1%)
B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある	20 (37.7%)
C 変わらない	14 (26.4%)
D 悪化している	4 (7.5%)
E 評価困難	7 (13.2%)
合計	53 (100.0%)

評価	＜基本的な方向※＞					全体
	1	2	3	4	5	
A	1 <50.0%> (1.9%)	3 <25.0%> (5.7%)	3 <25.0%> (5.7%)		1 <4.5%> (1.9%)	8 (15.1%)
B		3 <25.0%> (5.7%)	4 <33.4%> (7.5%)	2 <40.0%> (3.8%)	11 <50.0%> (20.8%)	20 (37.7%)
C	1 <50.0%> (1.9%)	4 <33.3%> (7.5%)	3 <25.0%> (5.6%)	1 <20.0%> (1.9%)	5 <22.7%> (9.4%)	14 (26.4%)
D		1 <8.3%> (1.9%)	1 <8.3%> (1.9%)		2 <9.1%> (3.8%)	4 (7.5%)
E		1 <8.3%> (1.9%)	1 <8.3%> (1.9%)	2 <40.0%> (3.8%)	3 <13.6%> (5.7%)	7 (13.2%)
合計	2 <100%> (3.8%)	12 <100%> (22.6%)	12 <100%> (22.6%)	5 <100%> (9.4%)	22 <100%> (41.5%)	53

### 目標値に達した項目 (A)

- 健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の平均の延伸）
- 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（10万人当たり）
- 脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（10万人当たり）
- 血糖コントロール指標におけるコントロール不者の割合の減少  
（HbA1cがJDS値8.0%（NGSP値 8.4%）以上の者の割合の減少）
- 小児人口10万人当たりの小児科医・児童精神科医師の割合の増加
- 認知症サポーター数の増加
- 低栄養傾向（BMI 20以下）の高齢者の割合の増加の抑制
- 共食の増加（食事を1人で食べる子どもの割合の減少）

### 悪化している項目 (D)

- メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少
- 適正体重の子どもの増加
- 睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少
- 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者（一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者）の割合の減少

#### （※）基本的な方向

- 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底（NCD（非感染性疾患）の予防）
- 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- 健康を支え、守るための社会環境の整備
- 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善及び社会環境の改善

健康日本 21（第二次）最終評価報告書 概要より抜粋

### ③国における次期プラン策定に向けた議論

ビジョン

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現

- ➔ ① **誰一人取り残さない健康づくりを展開する (Inclusion)**  
② **より実効性をもつ取組を推進する (Implementation)**
- ・ 多様化する社会において、個人の特性をより重視した最適な支援・アプローチの実施
  - ・ 様々な担い手（プレイヤー）の有機的な連携や、社会環境の整備により、個人を支える
  - ・ テクノロジーも活用したPDCAサイクル推進の強化



第3回次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会（令和4年11月7日）資料より抜粋

#### ④第3次枚方市健康増進計画

##### <これまでの主な課題>

- ① 青年期や壮年期における肥満者の割合が増加
- ② メタボリックシンドローム該当者の割合の増加
- ③ 高齢期における「やせ」が他の年代より多い

##### <今後の方向性>

- ① 健康寿命の延伸に向け、新たに補完的指標※を設定し、進捗を踏まえた取り組みの推進
- ② 働く世代における健康づくりの推進に向け、健康経営の取り組みを促進
- ③ こころの健康対策などを含め、健康への関心・行動を起こすための取り組みを推進
- ④ PHR（パーソナルヘルスレコード）※など、デジタル情報や技術を活用した取り組みを推進
- ⑤ ひらポの健康ウォーキングアプリ活用など、運動やスポーツを通じた健康づくりを推進

※ 「PHR（パーソナルヘルスレコード）」：個人の健康・医療・介護に関する情報。

自己の情報をマイナポータルで管理・活用することで健康状態に応じたサービス提供を受けることをめざし、国が取り組みを進めている。

## ※健康寿命に関する指標について

### ＜健康寿命の算出方法＞

国：国民生活基礎調査により算出（「日常生活に制限のない期間の平均」）

市：介護度データより算出（「日常生活動作が自立している期間の平均」（要介護2以上を不健康））

#### ・本市の健康寿命の推移（大阪府より提供）

		2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)
男性	目標値	—	78.9	79.1	79.2
	実績	78.8	80.0	80.3	80.4
女性	目標値	—	82.2	82.4	82.5
	実績	82.1	83.5	83.4	84.1

#### 国の目標

2040年の健康寿命を2016年から  
男女ともに3年以上延伸する

### ＜健康寿命に影響を与える因子に関する指標 (補完的指標)＞

「健康寿命の延伸」に係る施策の効果・進捗を図るための指標として新たに設定

#### ① 生活習慣病受診患者割合の減少

(枚方市国民健康保険被保険者 40歳以上)

	R2年度 現状値	R5年度 目標値	(%)
有病率	41.4	39.4	

#### ② 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少

(10万人あたりの数値)

	R2年度 現状値	R5年度 目標値
	73.0	72.3

#### ③ 特定健康診査受診率の向上

	R2年度 現状値	R5年度 目標値	(%)
受診率	30.1	50	

#### ④ がん検診受診率の向上

アンケートによる集計 (%)

	H30年度 中間評価	R5年度 目標値
乳	33.8	50
子宮頸	29.3	50
大腸	38.6	40
肺	37.2	40
胃	37.6	40

市が実施するがん検診 (%)

	R3年度 現状値	R5年度 目標値
乳	9.2	27.1
子宮頸	13.3	34.3
大腸	8.9	11.3
肺	9.7	13.3
胃	2.6	6.6

#### ⑤ 精密検査受診率の向上 (%)

	R2年度 現状値	R5年度 目標値
乳	98.4	90以上
子宮頸	83.6	90以上
大腸	73.1	90以上
肺	93.0	90以上
胃	91.1	90以上

※各目標値は、「健康増進計画」等から設定

## (2) 第2次枚方市歯科口腔保健計画策定に向けて

### ①枚方市歯科口腔保健計画

【計画期間：平成28年度（2016年度）から令和5年度（2023年度）までの8年間】

#### <計画の趣旨>

歯と口腔の健康は全身の健康と深い関係があることから、歯と口腔の健康づくりを通じて生涯自分の歯で噛んで味わい、元気でいきいきとした人生を送ることができるよう、歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進していく

#### <歯科口腔保健推進の方向性>

- 歯科口腔保健に関する知識や予防の普及啓発
- 定期的に歯科健康診査を受けること等の勧奨
- 配慮を要する者が定期的に歯科健康診査を受けること等のための施策の実施
- 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

#### <重点的歯科口腔保健対策>

- 生涯にわたる歯科口腔保健

う蝕予防・歯周病予防・口腔機能の維持向上

ライフステージ別の  
課題と取組

配慮を要する者の  
課題と取組

#### 【目標設定】 28項目 34の指標を設定

〈全ライフステージ〉

・歯科口腔保健推進の方向性を踏まえた目標 6項目 12指標

〈ライフステージごと〉

・乳幼児、学童期、成人期、高齢期 において 18項目 18指標

〈配慮を要する者〉

・妊産婦、障害者、高齢者、有病者について 4項目 4指標

- 状況に応じた歯科口腔保健医療

休日急病歯科医療

災害時の歯科口腔保健医療

#### <歯科口腔保健推進体制>

- 口腔保健支援センターを核とした「8020運動」の推進

## ②現行基本的事項の最終評価【国】

### 現行の基本的事項の評価項目と最終評価

項目	評価	最終評価（直近値）	目標値	目標値（変更後）
<b>1. 歯科疾患の予防</b>	目標全体の評価：E			
（1）乳幼児期				
①3歳児でう蝕のない者の割合の増加	B	88.1%	90%	
（2）学齢期				
①12歳児でう蝕のない者の割合の増加	A	68.2%	65%	
②中学生・高校生における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	E	-	20%	
（3）成人期				
①20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	A	21.1%	25%	
②40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	E	-	25%	
③40歳の未処置歯を有する者の割合の減少	E	-	10%	
④40歳で喪失歯のない者の割合の増加	E（参考指標：C）	-	75%	
（4）高齢期				
①60歳の未処置歯を有する者の割合の減少	E	-	10%	
②60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	E	-	45%	
③60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	E（参考指標：B）	-	70%	80%
④80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	E（参考指標：B）	-	50%	60%
<b>2. 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上</b>	目標全体の評価：D			
（1）乳幼児期及び学齢期				
①3歳児で不正咬合等が認められる者の割合の減少	D	14.0%	10%	
（2）成人期及び高齢期				
①60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	C	71.5%	80%	
<b>3. 定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健</b>	目標全体の評価：B*			
（1）障害者・障害児				
①障害者支援施設及び障害児入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加	B*	77.9%	90%	
（2）要介護高齢者				
①介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加	B*	33.4%	50%	
<b>4. 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備</b>	目標全体の評価：B			
①過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	E	-	65%	
②3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加	B	45都道府県	23都道府県	47都道府県
③12歳児の一人平均う蝕数が1.0歯未満である都道府県の増加	B	37都道府県	28都道府県	47都道府県
④歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している都道府県の増加	B	46都道府県	36都道府県	47都道府県

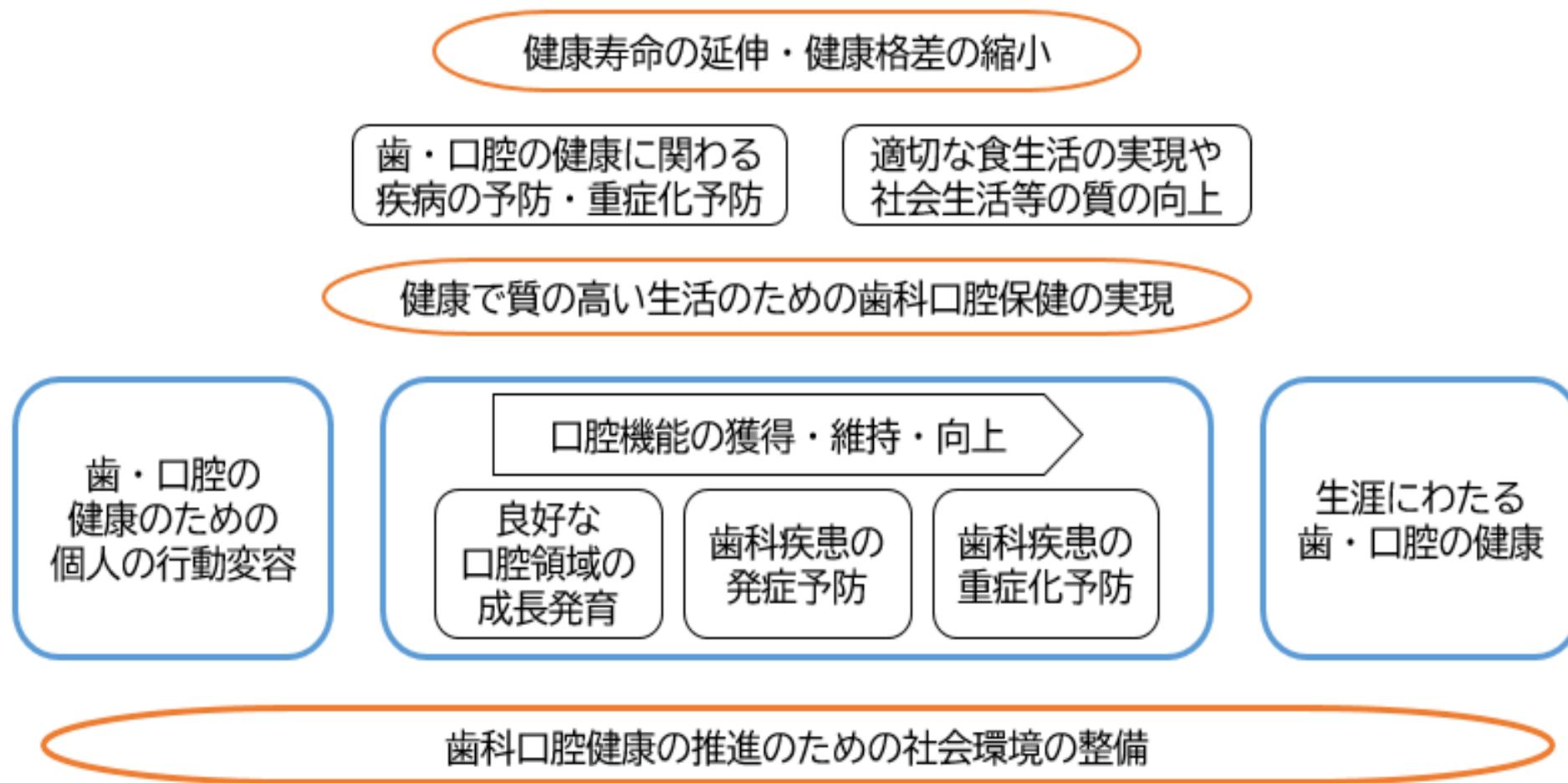
※ 参考指標について：E評価の項目のうち、中間評価以降の参考値等が得られ、統計分析が可能であったものについて分析を行い、その結果を参考指標として（ ）に記載した。

23

A：目標値に達した B：目標値に達していないが、改善傾向にある C：変わらない D：悪化している E：評価困難

第12回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会の資料から抜粋

### ③次期基本的事項の全体構想【国】



第12回歯科口腔保健の推進に関する専門委員会の資料から抜粋

## ⑤第2次枚方市歯科口腔保健計画

### <これまでの主な課題>

- ① 成人期に歯肉に炎症所見を有する人が増加
- ② 学齢期や成人期において、かかりつけ歯科医を有する者の割合が低い
- ③ 高齢期における歯間部清掃用具を使用する者の割合の減少

### <今後の方向性>

- ① 健康増進計画や食育推進計画などと連携した一体的な取り組みとして効果的に推進
- ② 歯科健診などを受診する際に配慮を要する人への支援の推進
- ③ 働く世代における歯と口の健康づくりの推進に向け、健康経営の取り組みを促進
- ④ 定期的な歯科健診の受診を定着させるための取り組みを充実
- ⑤ 日常生活で市民が取り組むセルフケアの普及啓発の推進